

令和5年度自己評価結果公表シート

庄本幼稚園

I、本園の教育目標

緑いっぱい環境の中で おもいやりのある子ども 自主性のある子ども 明るく、正しく、素直な心の子どもを目指して ・基本的な生活習慣を身につける。 ・自然に対する関心を抱かせる。 ・丁寧な保育をし、自立心を育てる。 ・思いやりのある子どもらしい子どもに育てる。 ・行事や活動から生まれる達成感や感動を体験する。

II、本年度、重点的に取り組む目標と計画(PLAN【目標設定】)

1、非認知能力の向上(行事や活動において) 2、非認知能力の向上(園庭遊びにおいて) 3、安全への配慮 4、教師としての資質の向上
--

III、評価項目の達成及び取組状況(DO【取組】)

評価項目	取組み状況
1、行事や活動における非認知能力の向上を目指して	ア、個人の能力、場面に応じて、自信をもてるよう、気持ちを引き出せるよう、励ました。人前で誉めることで全体的にできるようになった。
ア、意欲、チャレンジ力	達成感や喜びを味わい、次のステップへの意欲となるよう励ました。
イ、協調性、思いやり、責任感	イ、友達の気持ちを考えたり自分の気持ちを伝えたり、みんなで力を合わせて取り組める行事の中でこそできるように導いた。うまく関わることができない園児には協力して一緒に頑張ることに気付かせるようにした。みんなで力を合わせて取り組もうとする姿が見られた。相手に気持ち、思いを伝えたり協力することの大切さに気付かせる。運動会、おゆうぎ会などで自分の役割をきちんと果たすことが全体の完成に繋がることを学ぶ。
ウ、忍耐力、集中力	ウ、楽器演奏やおゆうぎ、文字の勉強、縄跳びでは集中力を高め忍耐力を養う。一生懸命に取り組む、努力することの大切さ、頑張ろうとする気持ちになるよう心がけた。話を聞く、待つことができたことをほめる。繰り返し取り組むことで達成した喜びを味わう声掛けを行った。
エ、思考力、判断力	エ、自分で考え行動できるよう、敢えて見守り、何をすべきかどのように行動すれば、自分で考えるように、小さな取り組みも自信につなげていく。
オ、自立心、感謝の心	オ、続けていくこと、繰り返すことで自信につなげていく、周りの人に役立つこと、感謝、自信を持てるように見守る。達成出来た時、共に喜び、誉める。何度も繰り返し頑張っていることを尊重し自信へと導く。
2.園庭(戸外)遊びにおける非認知能力の向上	ア、雲梯やのぼり棒などで、出来ない子ども、周りの子の頑張りや工夫している様子に導くことで、やってみようとする気持ちを芽生えさせる。自分たちで遊び道具を組み合わせ発展させる中で、意欲や工夫する力が芽生える。
ア、意欲、チャレンジ力、思考力	イ、皆が譲り合って楽しく遊べるよう見守っている。遊び道具で貸し借りがきちんとできているか、出来ていない場合は話を聞くように、思いやりの気持ちが芽生えてきているか。
イ、協調性、思いやり	ウ、遊び道具の貸し借りや譲り合いで思いやり、感謝の気持ちが芽生えてくる。自分たちで遊び道具の組み合わせを工夫したり考えることで忍耐力、順番待ちの気持ち、道具の片付けで感謝の気持ちが芽生える。
ウ、感謝、忍耐力、順番待ち、片付け	エ、天候、季節の変化に気付かせるよう指導する。日々の保育の中で虫にも関心を持ってきた。季節や暦上の行事を通して、また絵本、図鑑や季節の歌を通して体感も含め指導した。
エ、季節感、体感	ア、コミュニケーションをとりつつ体調に気を付けている。手洗いの徹底をする。保護者との引継ぎにより園児の体調を把握。声掛けを必ず、異変があれば直ぐに保護者に連絡。視診はできた。部屋の換気も徹底。
3、安全への配慮	イ、今年度は行事の参加制限は少なくなり変更や制限は適切であった。
ア、登園時、保育時における健康対策	ウ、施設、遊具の週1回の点検、遊び方の指導、監視はできた。
イ、コロナ関連行事対応	エ、バス2台の警報装置設置、運転手、添乗員、教員の連携はとれた。忘れ物の確認の際、置き去りがいないか部屋、倉庫の施錠、外遊びでの人数
ウ、遊具や施設の点検、使用時の監視	オ、地震、火災、不審者対策、実施。津波も加えた訓練が必要。
エ、通園バス等での置き去り防止対策	
オ、避難訓練	

4. 教師としての資質の向上	
ア、園児や保護者との対応は公平性を欠かないよう	ア、感情的にならないよう、威圧感を与えるような大声や口調はできるだけ避け、冷静に丁寧に関わられた。
イ、身だしなみ、挨拶、感謝の気持ち	イ、一社会人としての心構え、
ウ、清掃や整理整頓	ウ、朝夕のチェック、クラス内、園庭も含めて。
エ、プライバシーに関する情報の保護、	エ、情報は持ち帰らない、保管や取り扱いに気を付けている。
オ情報の共有、職員間の協力、連携	オ、クラスを超えて対応、小規模園の特色を生かして情報の共有。
カ、幼稚園教諭としての専門知識や技能の向上	カ、小学校の先生と交流を持つことができた。自分自身のスキルアップにつながる。オンライン研修は時間に束縛されないし、見直しができる。
、	

IV. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果 (Check【達成状況の評価】)

行事や活動における非認知能力の向上について、意欲やチャレンジ力を高めるには、達成感を満たすこと。個人の能力、個々に応じた取り組みが必要と思われるが全体に行きわたる対応は難しい、そのグループや個人のタイミングを狙っての励ましや誉めこと、たとえ小さなことであっても。自立心、感謝、やり抜く力については日常の保育や活動の中でみまもり。協調性については、みんなで力を合わせ、一緒に頑張る、その出来栄を自覚することで自分や仲間の気持ちが伝わり、協調性、思いやりが芽生える。忍耐力、集中力では楽器演奏、ダンスなどで繰り返し練習することで、忍耐力を養い出来栄が少しずつ良くなっていくことを自覚する。運動会では、みんなで力を合わせ一緒に頑張ることに気づかせる、少しずつ形になっていく喜び顔が見られたことは協調性、協力の大切さを体で感じる事ができたのであろう。忍耐力集中力の向上については楽器演奏や縄跳びで繰り返し練習することの大切さと集中力の向上を身に着けたと思う。また、自分の役割をきちんと果たす責任感が芽生える。自立心、感謝、やり抜く力については日常の保育や活動の中で見守りを重視し感謝の気持ちが素直に出るよう指導した。2. 園庭活動における非認知能力の向上について、行事や活動における非認知能力と違い、主に戸外において遊具遊び(雲梯、鉄棒等)、砂場遊び、積み木遊びにおける非認知能力、即ち道具使用の順番待ち、譲り合い、ママゴトなどのごっこ遊びにおける社会性、協調性、片付け等の思いやり、砂場での思考力、雲梯、鉄棒の目標への努力など、これらへ誘導、指導、を行った。

V. 今後、取り組むべき課題、改善 (Action【改善】)

行事や活動における非認知能力、園庭における非認知能力の向上については全職員が十分に理解し実行できるよう意識の高揚に努めたが十分ではなかった。常日頃から園児の性格や行動の把握、理解、保育者や保護者からの情報確保に努めなければならない。園児の健康と安全については通園バス2台の置き去り防止装置は完成したが今後も緊張感を持ち続け行い、新型コロナウイルス等の感染拡大や施設の安全管理についても引き続き気の緩むことなく感染防止、事故防止に努めなければならない。

VI. 学校関係者の評価

コロナ禍での行事や活動において、その都度考え、保護者の意見を取り入れながらわずかな縮小だけで行事を実施してもらって感謝。家庭との連絡も適切に行われていた。子どもの個性をよく把握してきめ細かな指導も良好であると認められた。順番待ちや譲り合いの気持ち集団生活でのルールも芽生え、先生と走ったり遊んだりがとても楽しそう、季節ごとの歌や制作においても楽しそうに学習出来ていた。一人ひとりにゆっくりと丁寧に向き合っ子どもたちと接していたのが良かった。モチベーションを上げる一言もよかった。コロナ対策は難しいと思うが、今後とも先生自身の感染予防にも気をつけてほしい。適切な言葉かけや励ましにより非認知能力の向上は確実に、評価は概ね妥当と認められる。衛生面、安全面において、今後とも気を緩むことなく緊張感をもって対応を、また、更なる家庭との連絡もお願いしたい。先生の負担軽減のためにパート先生の採用を検討してほしい。

VII. 財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められる。

